

平成26年度 新居関跡整備委員会・建築専門部会合同議事録

- 1 日 時 平成27年3月28日（土） 午後1時30分～午後2時40分
- 2 場 所 湖西市民会館 3階第2委員会室
- 3 出席者 整備委員 渡辺和敏委員長 向坂鋼二委員
飯田純男委員 寺田敏幸委員
建築専門部会委員 溝口正人委員 丸山俊明委員
事務局 後藤 建一（文化課長）切池 融（課長代理）
設計監理業者 有限会社ウッドサークル
- 4 議 題 ①平成26年度事業（整備工事・建物復元検討）について
②特別史跡の追加指定について
③平成27年度事業計画について
④その他
- 5 公開・非公開の別 公開

【開 会】

あいさつ

- ・文化課長
- ・整備委員長

【議 題】

（委員長）はじめに平成26年度事業について説明をお願いする。

※事務局より平成26年度の整備工事及び復元検討の経緯、文化庁復元検討委員会に提出した女改め長屋、船会所、土蔵、裏御門の復元詳細について説明

（委員長）大変難しい内容だったが何かご意見があったらお願いしたい。それでは私のほうからひとつ教えていただきたい。説明のなかに「くわんこう」というのがあったが、どういうものか。

（事務局）詳しいことはわかっていない。

（委員長）今後の宿題だ。

（委員）大御門の金物だが、平金物について先が開いた鰐口ではなく四角の形状にしたのはどこかで検討があったのか。

（設計業者）扉の上半分が格子になっていることもあり、先が開いた形状ではつけにくいので、四角い形状の平金物にした。

（委員）裏御門の控え柱について、貫が2枚で記述されているが、長さを検討するとちょうど2枚割になって、控え柱を2箇所でつなぐ形式

- になるのが結構ある。そういう長さにはなっていなかったのか。
- (設計業者) なっていなかった。ちょうど2尺6寸のながさになっていた。
- (委員) 高札に記された内容についてどのように決めたのか。
- (事務局) 江戸時代の資料に「東海道宿村大概帳」というのがあってそれに高札の文面が残っている。また、江戸期の資料に高札の大きさを記したものがあり、その中にも高札の内容についての記述があり参考にした。
- (委員) 高札の内容について時系列的に変化したかもしれないが、時代的にはあっているのか。
- (事務局) 高札については正徳元年に基本的な法令が出され、その後書き替えが行われたが法令の内容自体はかわっていない。
- (委員長) 枡形の部分について道路の関係で大御門の南側の脇塀が寸断され、これは仕方がないことだが、大御門や枡形の位置については昔の場所か。
- (設計業者) ほぼ昔の位置になっている。
- (委員長) 気になるのは、一部が寸断されていて見学者がこういうものだったのかと誤解することもあるのではないか。将来的には本来はこういう姿だったことを示した説明板を設置するなどして誤解を招かないようにする必要がある。
- (事務局) 新居関所全体のサイン、説明板については整備がある程度終わった段階で全体計画の中で検討していきたい。
- (委員) 関所の中にも高札場があるが、これが随分痛んで読めなくなっている。何とか新しいものにならないのか。
- (事務局) 全体整備の中でどうするのか検討していきたい。
- (委員) この高札はもとはどこにあったのか。
- (事務局) 本来は関所の構内にあった関所の高札で、現在の国道より南に位置する。
- (委員長) 国道の反対側の枡形の整備はどうなっているのか。
- (事務局) 将来的に土墨を作るようになっているが、現状では歩道になっている部分なのでどのあたりまで整備するか現状では決めていない。
- (委員長) 大御門の脇塀の袖瓦に葵の紋の瓦になっているが、根拠は。
- (事務局) 現在の面番所の下り棟に使用されているものを参考にした。
- (委員長) これは江戸時代のものか。
- (事務局) そうだと思う。昭和の解体修理においても新しく焼きなおしたという記録もない。本来下り棟に使うものではないようで、解体修

理で転用されたのではないかと考えられる。

(委員長) 平瓦の瓦頭紋が波状のようになっているが、何か意味はあるのか。

(事務局) 現在面番所に使われているものを参考にしたが、意味についてはわからない。

② 特別史跡の追加指定について

※事務局より特別史跡追加指定の経緯について説明
特に質問なし。

③ 平成27年度事業計画について

※事務局より平成27年度事業（裏御門実施設計業務、関所裏景観整備事業）について説明

(委員) 船会所の整備はいつごろの予定か。女改長屋の後になるのか。

(事務局) 今のところ女改長屋を29年度、30年度に船会所の整備と考えている。まずは女改長屋、裏御門を整備して、周りの整備を終えた後、関所構内の整備を行うよう計画している。

(委員) 今回大御門ができたので本来なら船会所を整備したほうが景観的にはよくなると思うが。

(事務局) そういう考えもあるが、周辺の整備を行ってからでないとの防火壁も取れないので、まずは回りの女改長屋、裏御門を整備して構内の整備を進めていきたい。今回大御門の整備に当たっては道路関係のほかに、地下には上下水道、NTT、中電、ガス管などの埋設物があり、その調整が大変だったが、これからは指定地内の整備を進めていくことになる。

(委員長) そのほか質問等はないか。なければ以上で審議を終了する。